

公式戦（愛知県FA3種委員会、クラブ連盟及び各地区委員会が主管する大会）における
新型コロナウイルス感染拡大防止に関する対策（参加チーム向け）について（2022年度①）

更新日 2022年6月18日

※ 更新部分を赤字で表記

I 感染対策

【全般】

- ・チームは必ず感染対策責任者（以下、責任者）を設置する。
 - ・試合当日責任者が参加できない場合は、試合当日のスタッフの中から責任者を定める。
（「選手・スタッフ健康チェック表」への記名、及び「メンバー表」のスタッフ氏名を○で囲む）
 - ・責任者は常に選手・スタッフの健康状態を把握しておく。
 - ・選手の試合出場（当日の活動への参加）に際して、試合当日保護者の承認を得る。
 - ~~・観戦・応援のみのチーム所属選手はできる限り来場を控える。~~
 - ・責任者は、試合当日の「参加チーム用新型コロナウイルス対応チェックリスト」を作成し、保管しておく。また、「健康チェックシート・個人」（※参加チーム（選手用）、2週間以上前から記録が必要）を選手に記録・提出させ、上記「チェックリスト」とともに、少なくとも1ヶ月間保管しておく。
- ※「健康チェックシート・個人」で以下のいずれかに該当する場合は、新型コロナウイルスに感染していないと医師が診断したり検査等で明らかになったりした場合のみ、試合に出場することができる。
- ①＜大会当日までの体温＞に発熱が記録されている場合
 - ②＜大会前2週間における健康状態＞にチェックが付かない場合
- ・県協会からの指示または報告をする場合等の対応は、大会感染対策責任者（要項に記載）が対応に当たります。
 - ・新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の活用の推奨をお願いします。

【試合前】

- ・試合当日参加する関係者は全員マスクを着用する。ただし、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすことができる。
- ・責任者は集合時に選手・スタッフの健康状態を把握する。（体温測定、チェック項目の確認）
- ・責任者は試合当日「メンバー表 兼 選手・スタッフ健康チェック表」を会場責任者または試合責任者に提出する。（提出がない場合、記載に不備がある場合は、試合への参加を認めないことがある）
- ・健康状態に異常が認められる選手・スタッフは、活動に参加しない。
- ・事前に用具等の消毒をしておく。
- ・ボトル、~~ビブス~~、コップ等の選手等の共有は厳禁とする。（マイボトル等必ず個人用の物を用意する）
- ・着替え等は必ずソーシャルディスタンスを意識して素早く行う。
- ・試合前のミーティングは全員マスクを着用し短時間で行う、または行わない。
- ~~・試合前にベンチ等での円陣は行わない。~~

【試合中】

- ~~・原則、試合前、試合後のセレモニーは行わない。~~
- ・セレモニーを行う場合は、正面や背面への礼のみとし、審判団や相手チームとの挨拶・握手は行わない。
- ・試合前のチーム集合写真撮影を行う場合は、選手間に十分な距離を確保して行う。
- ~~・試合前の円陣を行わない。~~
- ~~・倒れた選手に手を貸さない。メディカルスタッフは対応後、速やかに消毒を行う。~~
- ~~・得点時に握手、ハイタッチ、抱擁等、身体接触しない。~~
- ・ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐くなどをしない。
- ・口に含んだ水を吐かない。
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。
- ・ベンチでは必ずマスクを着用し会話も極力避ける。~~ビブスはマイビブスとする。~~

- ・選手交代がある場合にハイタッチ、抱擁等、プレー以外の不要な接触を避ける。
- ・試合中のウォーミングアップは交代を予定する者のみとし、他の者は行わない。

【試合中の飲水について】

- ・前後半それぞれ1回以上、必ず「飲水タイム」を設ける。(1分間を超えない)
- ・飲水タイムやクーリングブレイクでの交代は、後半の交代回数に含まれる。~~【変更】~~
- ・飲水時は必ずマイボトルで飲水し他者と共有しない。タオル等も共有しない。
- ・飲水時はピッチから出てベンチ内のマイボトルで飲水する。他者のボトルに触ることを避ける。
- ・マイボトルに限り、フィールドから1m離れた場所に設置したボトルで飲水できる。

【ハーフタイム】

- ・監督・コーチ・選手は互いの距離を保ち、できるだけ短時間でミーティングを終える、または行わない。
- ・~~後半スタート時も円陣は行わない。~~

【試合終了後】

- ・~~試合終了後は両チーム、審判団はピッチ中央に集まることは行わず、各自で自陣ベンチに戻り、速やかにベンチの荷物を撤収する。~~
- ・セレモニーを行う場合は、正面や背面への礼のみとし、審判団や相手チームとの挨拶・握手は行わない。
- ・試合終了後は手洗いうがいを徹底する。
- ・密にならないように着替えを素早く済ませ、寄り道をせずに、早く帰宅する。
- ・帰宅後は手洗いうがいを徹底し、体温を測り記録をしておく。
- ・責任者は、選手等に異常や変化等が確認された場合に、速やかに本大会感染対策責任者（要項に記載）まで報告をすること。

【観戦等】

- ・~~保護者等はできる限り観戦を控える。保護者および登録外選手等の観戦については会場の指示に従う。~~
- ・観戦する場合は必ずマスクを着用し、ソーシャルディスタンス(2m)を保つ。
- ・大声での応援は行わない。また、ハイタッチや抱擁等を控え、拍手による応援にとどめる。
- ・保護者の喫煙は厳禁とする。喫煙する場合は、認められた敷地内で窓を閉めて車の中で行う。
- ・ごみはすべて個人で持ち帰る。

【その他】

- ・~~交代でピッチから出た選手で自分のビブスが用意されなかった場合はベンチから出て観戦エリアにて応援することとする。~~
- ・チームスタッフは会場責任者(または試合責任者)に遵守事項等を確認し、必ずチーム関係者(選手、保護者、応援者等)に徹底させること。
- ・対策(対応)に不備があったチームは、チーム代表者及び感染対策責任者は「対応改善書」を作成し提出すること。

II 選手およびチーム関係者の感染またはその疑いへの対応について

【チーム活動について】

- ・チーム活動への参加については、自治体や保健所、学校等の指示に従う。
- ・チーム指導者による選手の状況把握や管理、該当選手の活動参加を見合わせる等、良識のある対応をとる。
- ・選手や保護者の意向を尊重し、活動への参加を無理に求めない。また、チーム内に強制的な参加を求める雰囲気生まれないように十分配慮する。
- ・感染状況等で生じる活動差をもって選手を不当に扱うことはなく、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷の発生を許容しない。

【公式戦全般】

- ・休校や学級閉鎖による自宅待機等の指示を受けている選手については、~~公式戦への出場を認めない。~~自治体や保健所、学校等の指示に従う。
- ・「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」期間後は、選手のコンディションを考慮し、十分な準備期間を設けた上で試合日を決定する。

【リーグ戦】

- ・リーグ戦については、出場できない選手によって試合実施が困難な場合は、その試合を延期し、後日同カードを消化する。
- ・原則として、GKを含めて登録選手が11人以上出場できる場合はリーグ戦を実施する。
- ・県リーグについては、延期せざるを得なくなった場合、判明した段階で速やかにブロック長に連絡し、対戦予定チームとも相談の上、延期を決定する。
その際、延期の起因となったチームは、予定されていた試合会場の運営に可能な限り協力する。また、その後の代替日程(会場確保、審判割り当て等)について、当該チームはブロック長と協力しながら調整にあたる。
- ・~~これまでの経験を生かし、~~後の日程が過密になったり、未消化になったりしないように代替日を設定し、できるだけ速やかに試合を消化するように努める。
- ・最終的に試合を消化できなかった場合は、延期の起因となったチームの不戦敗(0-3)とする。
- ・地区リーグについては、各地区にて実情に応じた対応を決定し、基本的な対処方針を示す。

【トーナメント戦】

- ・トーナメント戦については、当該チームの出場辞退とし、相手チームを不戦勝による次回戦出場とする。

【その他】

- ・上記について、大会運営者は監督会議等で事前に説明するなど、参加チームの共通理解を図っておく。
- ・大会要項に規定されていない事項については、大会要項に記載された大会運営役員において協議の上決定する。

以上